

資料1

平成28年度 総合的な学習の時間全体計画

大崎上島町立東野小学校

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直な児童が多い。 ・自分の想いを言葉で表現することを苦手とする児童がいる。 	<p>学校教育目標</p> <p>自分を大切に 他人を大切に ふるさとを大切に作る東野っ子の育成 ～自分が好き 友だちが好き 学校が好き ふるさとが好き～</p>	<p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付け、楽しく学校生活を送ってほしい。
<p>地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育熱心で協力的である。 ・校区は、文化財や史跡などが豊富で指導者となる人材がいる。 	<p>① 東野っ子学習の時間の目標</p> <p>自分の生活と学校・家庭・地域の人や、ものごとのかわりについての探求的な学習を通して、課題を主体的に見出し、学び方やものの考え方を身に付け、仲間と協力して課題を解決する資質・能力を育成する。そして、よりよい生活を創り出し、未来の大崎上島を担うたくましい人材を育成する。</p>	<p>地域の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に対して思いやりや親切な心を持ち、実践してほしい。 ・豊かな体験を通して、郷土を愛する心を持ち続けてほしい。
<p>大崎上島町教育推進プラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島の将来を担う たくましく生きる子どもの育成～大崎上島の郷土を愛する子どもを育てる～ 		

②本校で育てようとする資質や能力及び態度 (※太字は、今年度の重点課題)

評価の観点	本校の児童につけたい資質・能力	3・4年の評価規準	5・6年の評価規準
学習方法 (スキル)	①創造力 今あるものを生かし、さらに良くする方法を創造し、主体的に新しい物事を創造する力	・人の話をしっかり聞き、必要な情報を収集することができる。 ・活動・体験を通して、自らの課題を設定することができる。 ・他者と協働し、よりよいアイデアを出し合えることができる。	・人の話を、反応しながら聞き、必要な情報を収集することができる。 ・問題事象や活動・体験から、課題を設定し、課題解決の見通しを立てることができる。 ・他者と協働して、アイデアを出したり、修正・補正したりしながら、物事を創造することができる。
	②豊かな表現力 自分の思いや考えを言語化し、相手意識を持ち、響いたり感じたりして分かりやすく表現する力	・自分の思いや考えを整理して、書かせることができる。 ・相手意識を持ち、大きな声で、分かりやすく表現することができる。	・自分の思いや考えを、効果的の資料を選び、整理して書かせることができる。 ・相手意識を持ち、その場に合う効果的の表現方法を用いて、分かりやすく表現することができる。
自分自身に関する (意欲・関心)	③リーダーシップ 相手を思いやる親切な心や、人のためになることを進んで行う意欲	・自分から挨拶をしたり、声をかけをしたりすることができる。 ・社会のきまりやルールを守ることができる。 ・異なる意見を受け入れたり、みんなの意見を察したりする。	・誰にでも進んで挨拶をしたり、声をかけをしたりすることができる。 ・社会のきまりやルールを守り、礼儀正しい行動をすることができる。 ・他者の考えを受け入れ、意見をまとめたり、広げたりすることができる。
	④回復力・耐える力 困難に負けず、目標に向かって粘り強く努力する力	・身近な人に相談したり、友だちと助け合ったりして、課題を解決しようとする。 ・困難な状況でも、最後まで粘り強く取り組むことができる。	・身近な人や、地域の方と協働して、主体的に課題を解決しようとする。 ・困難な状況でも粘り強く取り組んだり、急激な変化に臨機応変に対応したりすることができる。
他者や社会との関わり (価値観・倫理観)	⑤自らへの自信 自分が好き・他人が好き・ふるさとが好き東野っ子の育成	・自己や友だちの良さや、頑張りを認めることができる。 ・郷土の自然・人材との触れ合いを通して、地域よさに気付くことができる。	・自己や友だちの良さや頑張りを認め、成長や変化を自覚することができる。 ・郷土の産業・文化を受け継ぐ方の思いや、地域よさに気付くことができる。
	⑥郷土を担う使命感 ふるさとを愛する心の育成 未来の大崎上島を担う使命感	・大崎上島のことを知り、誇りを持つことができる。 ・地域のために、自分にできることを考えることができる。	・大崎上島町の素晴らしさを感じとり、ふるさとに誇りと愛着を持つことができる。 ・大崎上島の将来について、自分たちができることを考えることができる。

③学習内容と活動内容 (☆は町内3小学校の交流活動)

	3年(地域)	4年(環境)	5年(産業・福祉)	6年(伝統文化)
テーマ	町のたから研究所 『大崎上島の宝をさがしに行こう』	町の自然環境研究所 『大崎上島の海を守れ』	町のものづくり研究所 『大崎上島を支える匠の技発見』	町の歴史研究所 『未来へつなげよう！大崎上島の伝統文化』
学習のねらい	自分の住んでいる地域への理解を深める。町の宝探しを通して、地域よさに気付く。町の有名人や、名人について調べること、地域の方と関わり方、豊かな表現力を身に付ける。	大崎上島の自然について、考えることを通して、自分の町の自然の美しさ豊かさに気付く。美しい海を守り、アピールするために、自分にできることを考え、実行する。	町の特産物や産業についての理解を深める。大崎上島の産業の実態を調査し、まとめる。北広島と大崎上島を比較すること、大崎上島の良さや魅力を、大崎上島の産業の未来について考える。	町の古墳や土器の調査をする。伝統文化である、権左馬への地域の方の思いを受け継ぎ、体験する。東野地区の伝統文化をつなぐために自分たちができることを考える。大崎上島の未来について、討論する。
学習活動	1学期「東野のしずみをさがそう」 ・校区探検をして、東野の秘密を見つけよう(古社八幡神社・矢野神社、等) ・東野には鳥がいくつあるのかな？ ・自分が住んでいる地域の言い伝えやお勧めの場所を紹介しよう。 2学期「大崎上島のしずみをしようかしよう」 ☆大崎上島の宝探し(大崎上島めぐり) ・東野地区の宝を探そう(東邦造船・岡本醤油、大望月邸、大崎公園) ・大豆の変身(豆腐・醤油・きなこ) 3学期「町の昔のことを調べよう」 ・昔の様子をお家の人に聞いてみよう ・網像になっている「望月圭介さん」は何をした人？ ・町の名人図鑑をつくろう	1・2学期「海の生き物探検に行こう！」 ☆海の生き物探検(大串海岸) ・大串海岸の生き物調査 ・今と昔の海の生き物の変化調べ ☆グローバルキャンプ ・大崎上島の海の生き物を留学生に紹介しよう ・生き物が減った原因を探ろう ・海の生き物を守るためにできることはないか考え実行しよう 3学期「東野のよさを伝えよう」 ・大崎上島の美しい海をアピールしよう ・東野のおすすめスポット調べ(二子島の夕陽・商船の桜・大崎公園) ・観光客の方に、東野をアピールする方法を考え、実行しよう	1学期「特産物を使った郷土料理を作ろう」 ・大崎上島の郷土料理調べ(つわぶき、いぎす豆腐、大平、権左馬寿司) ・大崎上島の農業…柑橘・ブルーベリー ・特産物を使った、郷土料理を考案しよう 2学期「知らせよう！大崎上島の産業」 ・大崎上島の産業調べ(工業…造船、福祉…みゆき☆水産業…ファームス☆牛乳業) ・東野の産業見学に行こう(東邦造船) ・大崎上島の産業マップづくり 3学期「大崎上島のよさを伝えよう」 ・大崎上島と北広島の暮らし比べ ・宿泊業…清風館と北広島民泊比べ ☆「山・海・島」体験活動(3泊4日) ・比べて分かる大崎上島のよさ ・大崎上島の産業の未来について考えよう	1学期「つなげよう！東野の伝統文化」 ・大崎上島の古墳と土器調べ(塚崎古墳等) ☆子ども権左馬競舟参加(ひがしの住吉祭) 2学期「伝えよう！東野の伝統文化」 ・日本の伝統文化の良さ発見(修学旅行) ・やっこ踊り(古社八幡神社) ・生野島(福浦古墳、製塩土器による塩作り、種田山頭火の句) ・臼島(瓦造り・鬼瓦) ・垂水・大田地区(塩田による塩づくり) 3学期「大崎上島の未来について考えよう」 ・情報を収集し大崎上島の現状を分析しよう ・東野の伝統文化の魅力や、アピールしよう ・大崎上島町議会の仕組みを知ろう ☆他校の児童と大崎上島の未来について、討論会をしよう

④ 指導方法	⑤ 学習の評価	⑥ 指導体制
<ul style="list-style-type: none"> ・諸感覚を使って、児童が試行錯誤できる体験活動の重視 ・一斉・個人・小集団などの学習形態の工夫 ・児童の課題意識を継続・発展させる支援 ・言語による分析、表現等の言語活動の充実 ・協働する活動が必然的に生まれる学習展開 ・個に応じた支援の重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート・レポート・ポートフォリオなど記録を活用した評価の方法の充実 ・作文・振り返りカードによる心情の変化 ・指導と評価の一体化の充実 ・観点別学習状況を把握する評価規準の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力の人材バンクへの登録と効果的運用 ・パイロット教員や、担任外の教職員による支援体制の確立 ・ゲストティーチャー・保護者・地域の関係機関との連携

<p>地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々とのふれあいを通じて学ぶことができるようにする。 ・地域の「ひと・もの・こと」を開発し、関係機関、地域の方、保護者との連携を図る。 	<p>近隣の小学校・中学校・高等学校等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町教員の交流活動部会で、各校の「総合的な学習の時間」の目標や年間計画、活用内容などを情報交換する。 ・幼・小・中・高連携のなかで「大崎上島学」を計画・実施・評価する。
---	--

平成 28 年度 資質・能力の育成に係る年間指導計画 (第 4 学年)

大崎上島町立東野小学校

育てようとする資質・能力【知識】基礎・基本の学力【スキル】①創造力②豊かな表現力【態度・態度】③リーダーシップ④回復力・耐える力【価値観・倫理観】⑤自らへの自信⑥郷土を担う使命感

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事	入学式・始業式	大崎上島町の生き物探検・お泊り会 足・運動会	新体カネスト	グローバルキープ ソング	ひがしの住吉祭	社会見学	公開研究発表 児童会発表	学園発表会 大崎上島学 ふれあいタイム	道徳参観日 運動会	なわとび大会 すかれ祭り	6年生を送る会 持久走大会 卒業式・修了式	
単元名	海の生き物探検に行こう！											
学習過程	課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ、課題の再設定、情報収集、創造・実行、振り返り											
主な内容	大崎上島の海についてのアンケートをとって、イメージマップを作ろう。大崎上島の海の生き物を調査しに行こう。十年前と比べてどんな変化があるのかを探ろう。大崎上島の海を守るための自分達が取り組んで来たことを、多くの人に知ってもらおう。大崎上島の海を大切にしよう。大崎上島の美しい海を守るために、自分たちでできることを考えよう。自分の生活を振り返ろう。											
総合的な学習の時間	資質・能力											
知識	大崎上島の海に生き物…イソカサゴ、アサギ、アサギ、ムラサキイソカサゴ、ニイナ、アサギ、海に関する用語…清瀬、干瀬、潮見表、大潮の日 等											
スキル	①海の生き物の環境の変化を察知するために、「どんな情報を集めたらよいか」を考え、学習計画を立てる。 ②大崎上島の海を守るための情報はどこから、いかに自分なりに考え、解決策を創造する。 ③大崎上島の海を守るための情報を、仲間、信頼して情報を分類、比較しながらまとめ、分かりやすく表現する。 ④大崎上島の海を守る方法を考え、他校の児童に伝えるように、分かりやすくまとめ、堂々と表現する。 ⑤身近な人や、地域の専門家の方に意見を求めたり、友だちから意見を聞いたりして、人と主体的に関わる。 ⑥異なる意見を受け入れ、みんなの意見をまとめる。											
意欲・態度	⑦地域の方との協力関係を築き、自己や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。 ⑧大崎上島の海に誇りを持って、この海を守るために自分ができることを実行する。											
価値観・倫理観	⑨大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。 ⑩大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
国語	・「大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。」という文章の構成を分析する。 ・「大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。」という文章の構成を分析する。											
社会	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
算数	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
理科	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
体育	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
音楽	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
図画工作	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
道徳	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
特別活動	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											
外国語(英)	・大崎上島の海を守るために、自分や友だち、大崎上島の良さを発信し、自信を持って活動する。											

資料3

「総合的な学習の時間」学習指導案

- 1 日時・場所 平成28年10月 7日(金) 5校時
- 2 学年 第4学年 13名
- 3 単元名 「大崎上島の海の生き物について調査しよう！」(第4学年, 全25時間)
- 4 単元設定の理由

(1) 児童の実態

児童は、昨年度の総合的な学習の時間で、大崎上島学として、町内3校で「大崎上島めぐり」にでかけ、大崎上島町の特徴や、よさについて学習してきた。児童は、美しい自然や、造船の歴史を知り、大崎上島は、昔から海との関わりを大切にしてきたということを学んだ。このことから、「これからも海を大切にしたい。」「海の様子についてもっと知りたい。」という、思いが高まった。そこで1学期には、「大串海岸の海の生き物探検」で大崎上島の海の生き物の実態調査を行った。十年前に大崎上島にいた生き物のラミネート集を基に、昔と今の生き物の違いを比較させながら、整理分析をし、分析の結果から大崎上島の海の生き物が減っていることに気付いた。さらに、夏季休業中に町内3校の小学4年生が集まり、グローバルキャンプで各校の総合的な学習の時間に調べたことを発表し合った。そこで、多様な表現方法があることを学んだ。

1学期の終わりに行った、「総合的な学習の時間」におけるアンケートでは、すべての項目において肯定的評価をしている児童の割合は86%以上である。しかし、『自分たちで計画を立てて学習を進めている』や『「たぶんこうかな」「こうすればできるかな。」と予想しながら学習している。』の項目に「どちらかといえば」と回答した児童が64%であった。このことから、予想したり、計画を立てたりして主体的に学習することに課題があるといえる。昔と比べて海の生き物が、どうして減ったのかを予想させ、自ら課題を設定できるようになることをねらい、本単元を設定した。

(2) 教材について

大崎上島は、昔から造船や廻船で盛えており、海との関わりが深い町だが、児童は、本土へ行くためには必ずフェリーに乗らなければならない、海があることで、不便だと思う気持ちがあることや、きれいな海があることが当たり前と思っている児童が多く、大崎上島の海のすばらしさに気付いている児童が少ない。しかし、大崎上島を訪れた方に感動をあたえるのは、美しい海である。この美しい海に、自信と誇りを持ち、大崎上島の美しい海を他地域にアピールすることができれば、地域に貢献につながると考える。「海の生き物探検に行こう」を扱うことで、大崎上島に誇りと愛着を持ち、将来を担うたくましく生きる児童の育成、さらに、海を守る活動をしてくださっている地域の方とのつながりを深めることで、自分も、地域の一員として主体的に関わろうとする児童の育成につなげていきたい。

(3) 単元の目標

学校教育目標 「自分を大切に 他人を大切に ふるさとを大切にする東野っ子の育成」

めざす子供像 「誠実な子 親切な子 努力する子 ふるさとを大切にする子」



本校の児童につけたい資質・能力

スキル	①創造力	○	<ul style="list-style-type: none"> ・人の話をしっかり聞き、必要な情報を収集することができる。 ・活動・体験を通して、自らの課題を設定することができる。 ・他者と協働し、よりよいアイデアを出し合うことができる。
	②豊かな表現力	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを整理して、書き表すことができる。 ・相手意識を持ち、大きな声で、分かりやすく表現することができる。
意欲・関心	③リーダーシップ	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から挨拶をしたり、声かけをしたりすることができる。 ・社会のきまりやルールを守ることができる。 ・異なる意見を受け入れたり、みんなの意見を繋いだりする。
	④回復力・耐える力	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人に相談したり、友達と助け合ったりして、課題を解決しようとする。 ・困難な状況でも、最後まで粘り強く取り組むことができる。
価値観・倫理観	⑤自らへの自信	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や友達の良さや、頑張りを認めることができる。 ・郷土の自然・人材との触れ合いを通して、地域のよさに気付くことができる。
	⑥郷土を担う使命感	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島のことを知り、誇りをもつことができる。 ・地域のために、自分にできることを考えることができる。



(4) 単元の評価規準

	学習方法	他者や社会との関わり	自分自身に関すること
評価規準	<p>① 創造力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物や環境の変化を探るために、どのような手順で、どんな情報を集めたらよいか考え、主体的に計画を立てている。 ・他者と協働し、海の生き物を守るための、よりよいアイデアを出し合うことができる。 <p>② 豊かな表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を、主に人との関わりから収集し、分類・比較しながら整理し、表現している。 ・相手意識を持って相手に伝わるような表現の工夫をしている。 	<p>③ リーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人に尋ねたり、友達の意見を聞いたりして、人と主体的に関わっている。 <p>④ 回復力・耐える力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達、地域の方、他校の児童の意見や情報を受け入れ、協働して課題を解決している。 	<p>⑤ 自らへの自信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との触れ合いを通して、自己や地域のよさに気付いている。 <p>⑥ 郷土を担う使命感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい海を守るために、自分ができることを考え、自らの生活を見直している。

(5) 指導計画 (全 44 時間 本時 11/44)

月	学習内容	時数	関連する教科	評価規準 (B) 【評価方法】
4	<p>①課題の設定 (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大崎上島町の海についてのアンケートを取り、町民と来島者のアンケート結果を比較しながら、大崎上島の海のイメージマップを作成する。 ○「大崎上島の海は、本当にきれいで、生き物もたくさんいるのか調べよう」という課題を設定し、学習計画を立てる。 	2 2	国語	<p>①創造力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島の海は本当にきれいなのかを探るために、どのような手順でどんな情報を集めたら良いかを考え、主体的に計画を立てることができる。

5	<p>②情報の収集（6）</p> <p>○『大串海岸の海の生き物探検』を行い、大崎上島の海の生き物の実態調査をする。…8/27（月）13時～16時 （講師：元広島大学教授の鳥越先生，元東野小学校長の岡田先生） ☆大崎上島学…町の三小学校合同の学び</p> <p>※宿題で、大崎上島の海に昔どんな生き物がいたのか、家族にインタビューし、情報を集める。</p>	6	理科 国語	<p>③リーダーシップ</p> <p>・講師の先生や、三校の児童と積極的に関わり、協同して色々な種類の生き物を探することができる。</p>
6	<p>③整理・分析（6）</p> <p>○十年前に大崎上島にいた生き物ラミネート集を基に、昔と今の生き物の違いを比較させながら整理分析する。</p>	6	理科	<p>④回復力・耐える力</p> <p>・友達と協働して、分かりやすく整理し、分かったことをまとめている。【行動観察・振り返り記述】</p>
7	<p>④まとめ・創造・表現（6）</p> <p>○各校で結果をまとめる方法を考え、分かりやすく表現する。 ○大崎上島の海の生き物を、簡単な英語で、留学生に発表する。 ☆グローバルキャンプ（大崎上島学）</p>	3 3	国語 裁量	<p>②豊かな表現力《書く・話す》</p> <p>・今と昔の生き物を比較し、何がどれだけ増減しているのか、どんな生き物が減っているかを分かりやすく整理し、表現することができる。</p>
9	<p>①課題の設定（2）</p> <p>○ウェビングで生き物が減った理由を話し合う。 ○「生き物がたくさんいる海を守ろう」という課題を設定し、計画を立てよう。</p>	1 1	国語	<p>①創造力</p> <p>・生き物が減った原因を、ウェビングしながら、これから学習したいことや、学習の手順などを主体的に考え、計画を立てている。【発言・態度】</p>
	<p>②情報の収集・整理分析（4）</p> <p>○どうして海の生き物が減っているのか情報を集める。 ・資料から生き物が減った原因を調べる。 ・宮島水族館の赤木さんから、スナメリに関する話を聞く。 ○Zegonの谷川さんや宮島水族館の赤木さんに、詳しい原因を聞く。</p>	2 2	国語 理科	<p>⑤自らへの自信</p> <p>・海を守る活動をしている方が、地域にいることを知り、地域の人々の努力や地域のよさに気付くことができる。【行動観察】</p>
	<p>③創造性（1）</p> <p>○大崎上島の海を見守る人を増やしてほしいという思いを受けて、自分達にできることを考える。 ・「あまも調査隊」を作って海の様子を調査する。 ・海岸を清掃して海岸をきれいにする。 ・海の生き物グッズをつくり、販売して、スナメリのことを知ってもらう。</p>	1	国語	<p>①創造力</p> <p>・海を見守る人を増やすために、自分達ができることを考え、他者と協働し、よりよいアイデアを出し合うことができる。【発言・態度】</p>
10	<p>④まとめ・創造・表現（3）</p> <p>○実現可能なアイデアを絞り、グループに分かれて企画書を書く。 ○専門家の方にグループごとにアピールし、評価をもらう。</p>	2 1	社会 道徳	<p>②豊かな表現力《書く》</p> <p>・必要な情報を、グループごとに収集し、分類・比較しながら企画書に表現している。【ワークシート】</p>
	<p>⑤課題の再設定（1）</p> <p>○評価を受け、KJ法でグループの企画書を分析し、改善策を考える。 (本時)</p>	1	国語	<p>④回復力・耐える力</p> <p>・友達からのアドバイスを受け入れて、協働して改善策を考えている。【行動観察・振り返り記述】</p>
11	<p>⑥情報の収集・整理・表現（4）</p> <p>○改善策を実行するために、地域の方から情報を集める。 ○試作品やポスター、プレゼンテーションを作る。</p>	2 2	社会 図画工作	<p>③リーダーシップ</p> <p>・自分から友達に尋ねたり、友達の意見を受け入れたりしながら、人と主体的に関わり、表現することができる。【行動観察】</p>
12	<p>⑦実行（2）</p> <p>○地域に、作品や考えを表現する。</p>	2	国語	<p>②豊かな表現力《話す》</p> <p>・相手意識を持ち、分かりやすい表現の工夫をしている。【行動観察】</p>

	⑧まとめ・振り返り（５） ○これまでの学習を振り返り，学んだことや実行後の心の変化をまとめる。 ○三校合同で今後の大崎上島の海について発表し合う。 ☆大崎上島学…町の三小学校合同の学び（K授業）	3 2	道徳 国語	①創造力 ・友達のアドバイスを生かして，スナメリを増やす方法を主体的に考えることができる。【発言・態度】
	⑨振り返り（１） ○これまでの活動を振り返るとともに，他校の提案を聞き，自分の生活や暮らしに生かせることを作文に書き，書いたことを交流する。	1	国語	⑥郷土を担う使命感 ・大崎上島の海を守るために，自分にできることを考え，自らの生活を見直している。【振り返り記述】 ⑤自らへの自信 ・大崎上島の海の高さや自分の成長を実感することができる。 【ワークシート】

5 本時の展開（11/22）

（1）本時の目標

○前時の評価からグループで書いた企画書をKJ法で分析し，多くの人にスナメリを見守ってもらうにはどこを改善したらよいかを考えることができる。 【④回復力・耐える力】

（2）本時の評価基準

	A	B	支援
④回復力・耐える力	友達のアドバイスを生かして，多くの人にスナメリを見守ってもらうために，よりよい方法を主体的に考え，計画を立てることができる。	友達のアドバイスを生かして，多くの人にスナメリを見守ってもらうために，よりよい方法を主体的に考えることができる。	・友達からもらったアドバイスを一緒に読み直し，どこを改善する必要があるのかを考えさせたり，グループでもらったアドバイスの中から，実現できそうなものを選ばせたりする。

（3）準備物

学習計画表，模造紙，アドバイスを書いた付箋，マジック，ワークシート

（4）学習展開

	学習活動	指導上の留意点(○) UDを視点とした支援(□)	評価規準 【評価方法】
課題設定	1 本時の学習課題を設定する。 (全体) ・スナメリ観察会を想起させる。 ・単元計画の掲示物を見ながら，本時の課題を確認する。 本時の課題	起…本時のねらいに沿った問題提示 ○ 考えるアイテム を，前時に，各自が書いた付箋紙とし，それを分類することを確認する。【つくる足場】	
	2 企画書に付箋をはる。 (全体) ・自分のグループのメンバーが書いた，付箋紙を企画書に貼る。 ・自分のグループ以外の企画書を見合い，アドバイスを書き加える。 ・アドバイスを直接伝え合う。	4 構造的な板書 テーマごとに板書し，視覚的に分かりやすく板書する。 8 改善点(アドバイス)は，黄色の付箋紙に書き込ませる。	

	<p>企画書①『あまも調査隊』</p>	<p>企画書②『海岸ピカピカにし隊』</p>	<p>企画書③『海の生き物グッズ販売し隊』</p>
表現	<p>3 アドバイスを受けてどんな活動に改善するかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスと付箋紙を見ながら、自分達の企画をもっとよくするための作戦を考える。 		<p>○付箋紙を色分けし、企画書に直接付箋紙を貼らせることで、よい点、課題、改善点を見やすくする。</p> <p>○教師は、児童が主体的に取り組めるように、ファシリテーターを務める。</p>
まとめ	<p>4 全体で、グループで話し合った内容を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに話し合った内容を順番に発表し合う。 		<p>○具体的にどんな活動をするのかを考えさせる。</p> <p>○相手意識を持たせ、大きな声で発表させる。</p> <p>○国語科の「みんなで新聞を作ろう」の学習で学んだことを想起させる。</p>
振り返り	<p>5 振り返り、次時の予告を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを書く。 「アドバイスを生かして、もっとよい企画書にして、スナメリを見守る人を増やしていきたい。」 ・次時の学習を確認する。 アドバイスを生かしてもっとよい企画書にしよう！ 		<p>④回復力・耐える力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達からのアドバイスを受け入れて、協働して改善策を考えている。 【行動観察・振り返り記述】 <p>結・振り返り</p> <p>⑦「東野小の学習の進め方」 振り返りを、することで、本時の学びを確かなものにする。</p>

(5) 板書

10/7 大崎上島の海の生き物について調査しよう。

めあて

より多くの人に大崎上島の海を見守ってもらえる企画書に改善しよう。

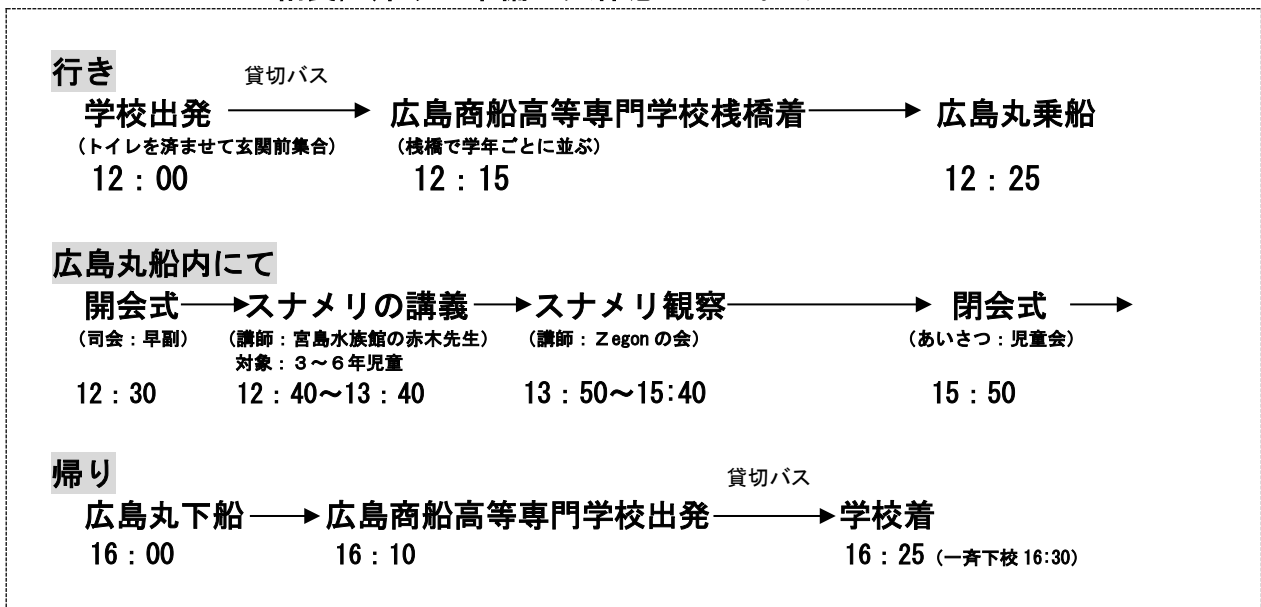
<p>企画書①『あまも調査隊』</p>	<p>企画書②『海岸ピカピカにし隊』</p>	<p>企画書③『海の生き物グッズ販売し隊』</p>	<p>ふりかえり</p> <p>アドバイスを生かしてもっとよい企画書にしたい。</p>
---------------------	------------------------	---------------------------	---

大崎上島の海の手しさを知ろう

～スナメリが住む環境を守ろう～

- 1 目的
 - ・大崎上島近海に生息するスナメリの生態を知り、海と生き物の関係を追求することができる。
 - ・「広島丸」に乗船し、普段は見るこができない海側から大崎上島や、周りの海を観察することによって、大崎上島の美しさを良さを感じるこができる。
 - ・スナメリを守る活動をされている方々からお話を聞き、地域の方々の努力や願いに気付くこができる。
 - ・ルールやきまりを守り、礼儀正しく接し、安全な行動をとる。
- 2 場所 広島商船高等専門学校棧橋（広島丸）
- 3 参加人数
 - ・児童数 52名
 - ・教職員 12名
 - ・保護者約10名
 - ・講師 5名
- 4 日程 9月13日（火）
- 5 カウント ⑤総合 or 生活 ⑥総合 or 生活

※11:10～11:50 給食，帰りの準備は大休憩にしておく



※バスは児童52名+教職員3名のみ

※他の教職員は、相乗りで、グローバルキャンプ時に停めた駐車場へ

6 活動について

◎開会式（棧橋にて） (12:30～12:37)

12:30 学年ごとに集合

①児童代表はじめの言葉（児童会： ）

②校長先生のお話（講師自己紹介）

※開会式終了後乗船（1, 2年はデッキ, 3~6年は会議室に移動）

◎スナメリについての講義（3~6年）（12:40~13:40）

- ・宮島水族館の赤木先生による、『スナメリについてもっと知りたいな!』の講義をきく。（※児童が、積極的に質問できるように事前準備を）
- ・感想がある人は、立って発表する。

◎スナメリ観察（広島丸デッキにて）（13:50~15:40）

- ・Zeagonの会のお話を聞いて、スナメリを探し（スナメリ観察）に行く。
- ※安全確認を怠らないように、監視に教員を1名配置する。

◎閉会式（棧橋にて）進行：早副（15:50~16:00）

15:50 学年ごとに集合

①児童代表おわりの言葉（児童会： ）

②お礼のあいさつ

◎下船 16:00

7 雨天・風の場合

- ・スナメリ観察ではなく、大崎上島の地形等を観察（少雨決行）

8 事前準備・確認事項

- ・ゴミ袋・トイレトペーパー・救急セットの用意をしておく。
- ・緊急時の対応の仕方を校内で確認しておく。
- ・車に乗って行く教職員（越田先生：荷物運搬・救護, 竹本：広島丸のトイレの清掃）
- ・感想文（絵日記・礼状等）を、後日早副が集約し、講師の先生へ送る。

9 持ち物

- ・教職員は、携帯電話持参（緊急時は管理職に連絡）

《児童の持ち物》

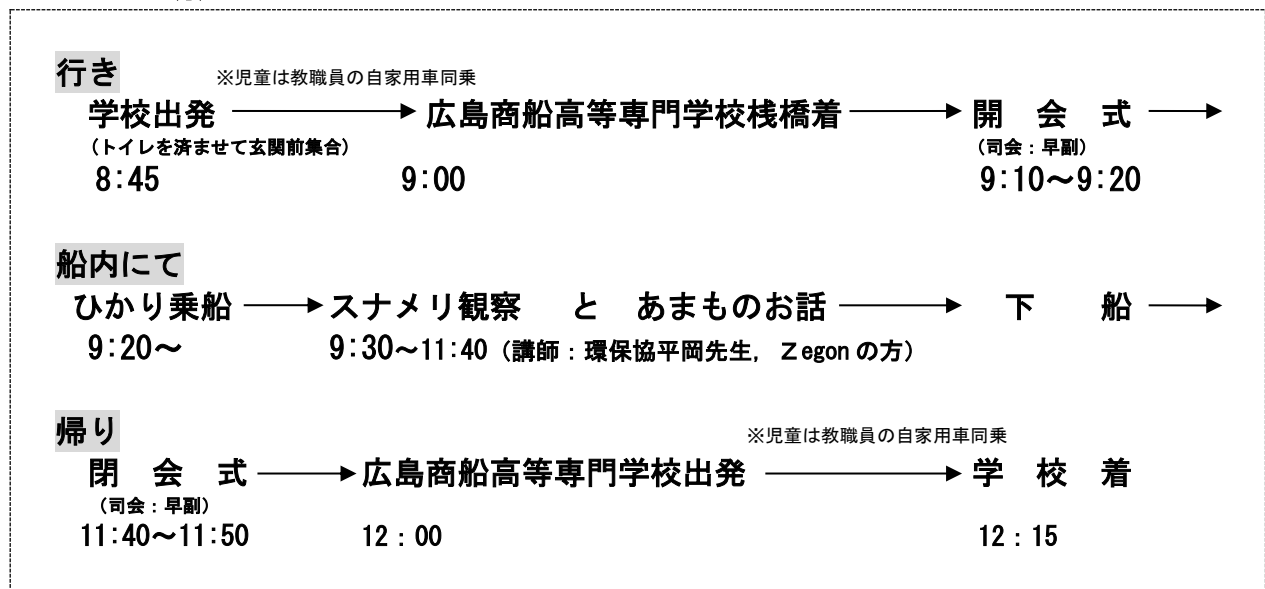
- ・赤白帽子・動きやすい服装・お茶・タオル・ハンカチ・ちり紙・（酔い止め）

資料5

大崎上島の海の生態を調べよう

～スナメリが住む環境を守ろう～

- 1 目的
 - ・大崎上島近海に生息するスナメリの生態を知り、海と生き物の関係を追求することができる。
 - ・あまもとスナメリについてのお話を聞き、地域の人々の努力や、自然豊かな大崎上島周辺の自然環境のよさに気付くことができる。
 - ・ルールやきまりを守り、礼儀正しく接し、安全な行動をとる。
- 2 場所 広島商船高等専門学校棧橋（練習船ひかり）
- 3 参加人数
 - ・児童数 14名
 - ・教職員4名
 - ・ 環境協
 - ・ Z e g o n
- 4 日程 10月27日（木）
- 5 カウント ①学活 ②総合 ③総合 ④総合
※8：45～12：15



※教職員の車は、グローバルキャンプ時に停めた駐車場へ

6 活動について

◎開会式（棧橋にて）（9：10～9：20）

9：10 班ごとに集合

- ①児童代表はじめの言葉
 - ②校長先生のお話（講師紹介）
- ※開会式終了後乗船

◎ **スナメリ観察・あまものお話** (9:00~11:30) 【満潮 8:18 干潮 14:09】

- ・ Z e g o nのお話を聞きながら、スナメリを探す。
 - ・ あまもについてのお話を聞く。
 - ・ 感想や質問がある人は、立って発表する。
- ※安全確認を怠らないように、必ず監視に教員を1名配置する。

◎ **下船** (11:30~11:40)

◎ **閉会式 (棧橋にて)** (11:40~11:50)

11:40 班ごとに集合

- ① 児童代表おわりの言葉
- ② お礼のあいさつ

7 雨天・風の場合

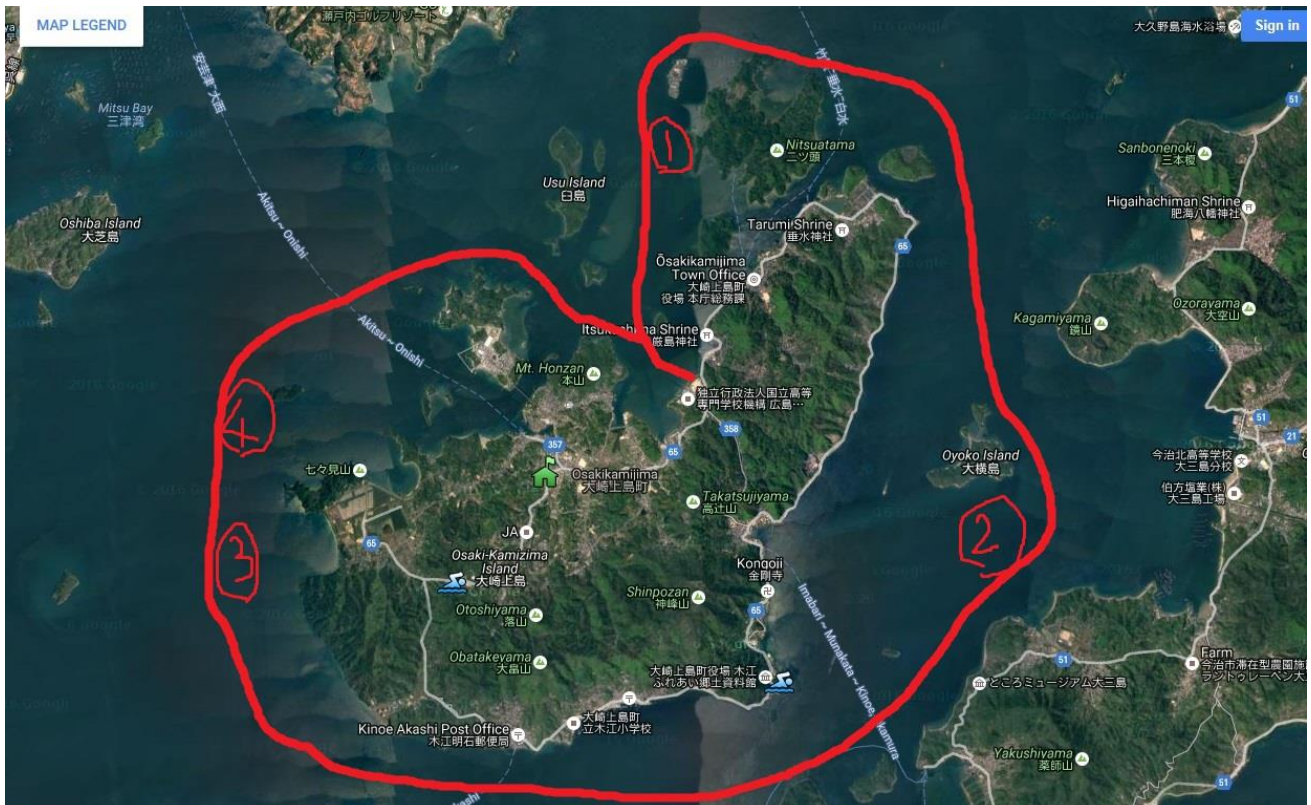
- ・ スナメリ観察ではなく、あまも観察を行う。(少雨決行)
- ・ 竹原港 満潮 8:18 (293cm), 干潮 14:09 (86cm)

8 事前準備・確認事項

- ・ ゴミ袋・トイレトペーパー・救急セットの用意をしておく。
- ・ 緊急時の対応の仕方を校内で確認しておく。
- ・ 感想文(絵日記・礼状等)を、後日早副が集約し、講師の先生へ送る。
- ・ 教職員は、携帯電話持参(緊急時は管理職に連絡)

9 持ち物

- ・ 赤白帽子・動きやすい服装・お茶・ハンカチ・ちり紙・(酔い止め)



スナメリ復活プロジェクト実践報告会 ～大崎上島の海を守れ～

- 1 目的
 - ・協力していただいた方々に、スナメリ復活プロジェクトの実践報告をすることで、大崎上島の海や、自分たちの頑張りに自信や誇りを持つことができる。
 - ・スナメリを守る活動をされている方々からお話を聞くことで、地域の方々の努力や願いに気付くことができる。
 - ・地域の方と協働し、海と人間のよりよい関係について考え、今後の見通しを持つことができる。
 - ・ルールやきまりを守り、礼儀正しく接し、安全な行動をとる。
- 2 場所 大崎上島町立東野小学校 4年教室
- 3 参加人数
 - ・児童数 14名
 - ・教職員 3名
 - ・講師 4名
- 4 日程 3月10日(金) 14:00～15:35
- 5 カウント ⑤総合 ⑥総合
- 6 活動について

◎開会式 (14:00～14:05)

14:00 班ごとに集合

- ①児童代表はじめの言葉(4年代表)
- ②校長先生のお話(講師紹介)

◎実践報告 1グループ10分以内(14:05～14:45)

- ・3チームに分かれて、1年間の活動の実践報告を行う。
- ・感想や質問がある人は、立って発表する。

◎5分休憩 (14:45～14:50)

◎実践報告についての講評 (14:50～14:00)

◎討論会「大崎上島の海を守るために何ができるだろう」(14:00～14:30)

- ・地域の方と意見交流をする。

◎閉会式 (14:30～14:35)

14:30 班ごとに集合

- ①児童代表おわりの言葉(4年代表)
- ②お礼のあいさつ

資料7 「児童が地域に向けて作成したもの」

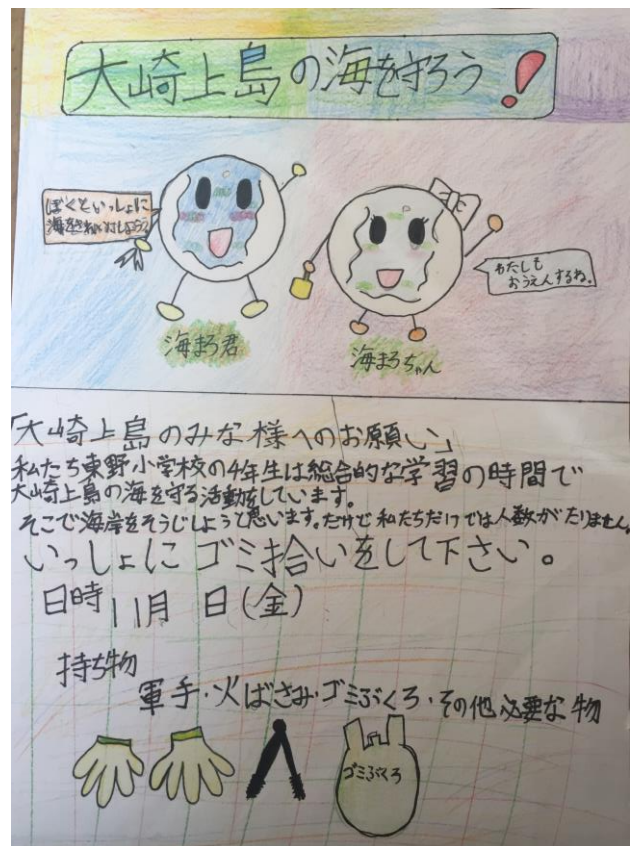
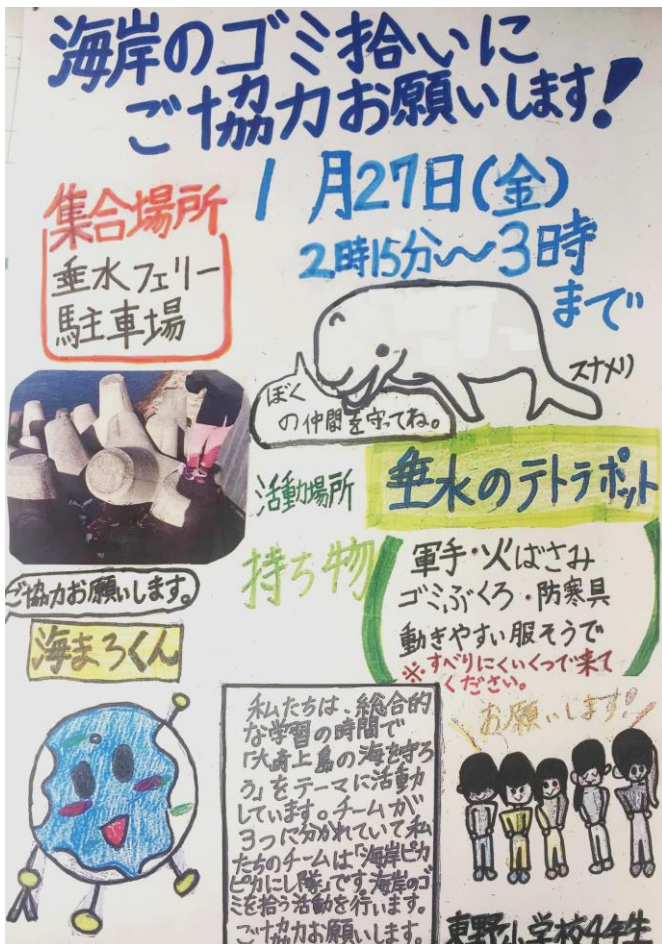
①スナメリがいる大崎上島の海を守ろうと呼びかけるしおり



②中国新聞みんなの新聞コンクールに応募



③地域にごみ拾いを呼びかけるために作成したポスターとチラシ



④町の文化祭（すみれ祭り）で、児童が地域の方に配布した、「スナメリがいる海を守ろう」と呼びかけるパンフレット

表面

スナメリのいる場所
地図

スナメリがよくいる場所

生野島
スナメリいる所

大崎上島町

制作者：東野小学校 4年生

有本 蒼夢 岩本 結風 岡本 珠
岡本 真奈 川上 鈴花 川本 道珠
吉川 史望 猿渡 愛華 中西 咲葉
林 未来 丸山 陽愛 八崎 慎久助
吉村 侑珠 土井 海都 計 14名

協力してもらった先生
宮島水族館 赤木 太さん
Zegonのみなさん
広島県環境保健協会のみなさん
独立行政法人国立商船高等専門学校のみなさん

裏面

皆さんは大崎上島の海にスナメリがいることを知っていますか？スナメリはきれいな海にしかいません。私たちはスナメリがきれいな海にしかいないと分かったので、ごみを拾うなどの活動をしています。みなさんも私たちと一緒にきれいな海を守っていきませんか。

みんなの力でぼくの友達を増やしてね

スナメリを守るためにしてもらいたいこと

- ① 海にゴミを捨てないこと。
X
- ② 小魚はなるべく海ににがすこと。(リリース)
- ③ 海にきょう味を持って海に関わること。(つり・海水浴・潮干狩り・スナメリ探しなど)
よろしくね!

大崎上島の海 最高でーす!

海岸のゴミ拾いの結果報告

私達は1月27日に東野で一番ゴミが多かった垂水港のテラポットのゴミを拾いに行きました。その結果を報告します。

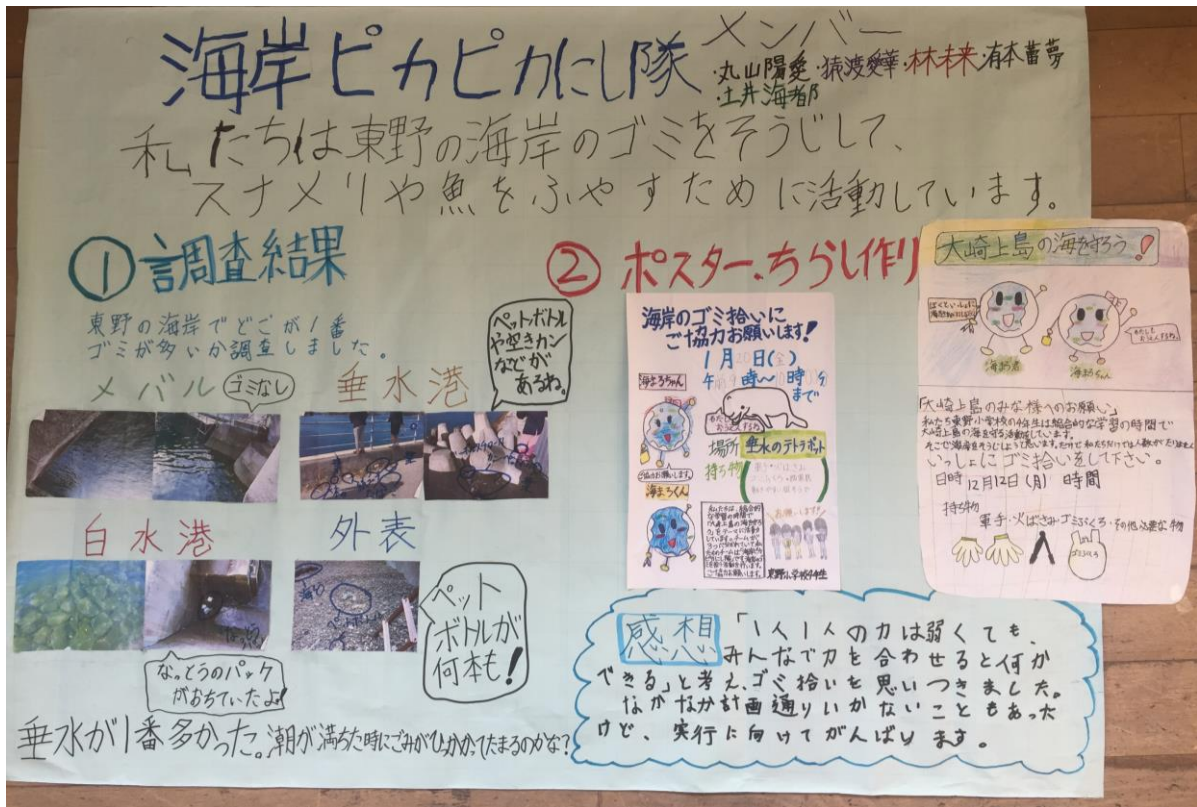
ゴミの種類	ペットボトル	たばこの缶	缶	ビン	カップめん
数(こ)	58	49	28	19	5

● 拾ったゴミは、合計で12.5kgもあり、びっくりしました。
● 一番多いゴミはペットボトルでした。

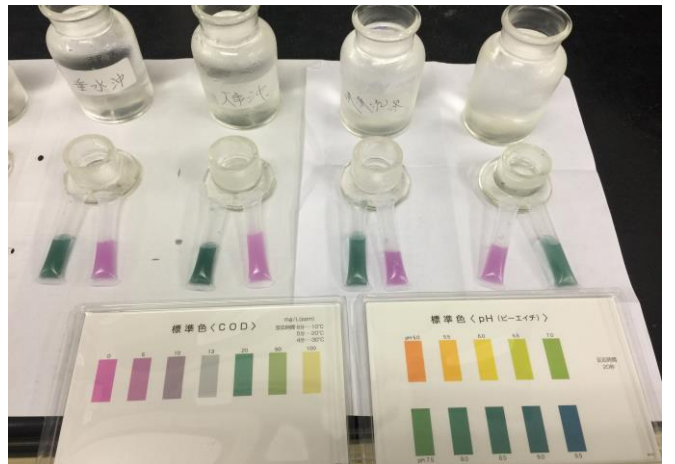
お願い
海のゴミは、人間が捨てた物です。海の生き物がたくさん増えてほしいので、海にゴミを捨てないでください。ご協力をお願いします。

資料8 「町内3小学校での各校の海を守る取組の発表内容」

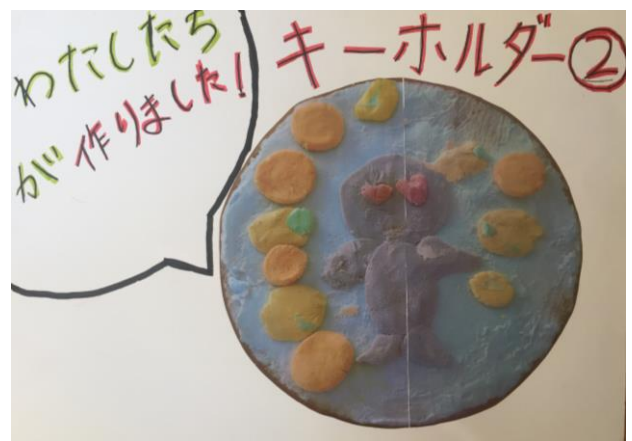
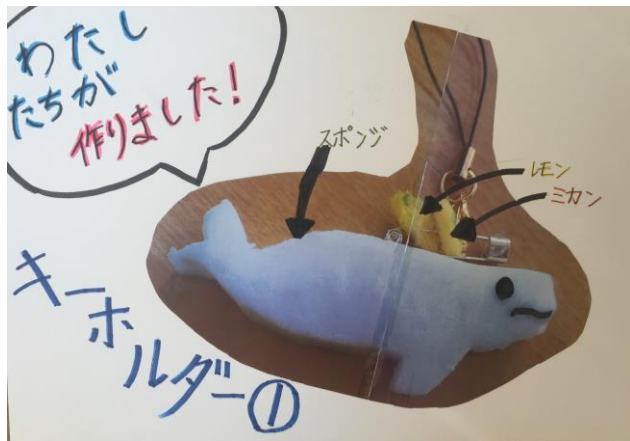
①海岸のゴミを拾うために、東野地区の海のゴミを調査した結果をまとめた模造紙



②大崎上島の海の水質調査をした結果をまとめた模造紙と写真



③スナメリがいる海を守るために、取り組んできたことをポスターにまとめて報告



この企画はニスを使わないと色がうつると大変よ。ニスを使っても色がうつらないようにする。

大崎上島の特産品をいれているのがいいね。

とってもかわいいね。口元や形がとてかわいい。

アイデアがいいですね。

コロン作りか、プラバンより量が多い方がいいかな。

休けい時間なの、真剣に話し合う事ができて良かった。

対象者を観光客の人にしてはいいけど、観光客の方はスナメリの海を守るための、知らせてもらう相手を考える方がいいと思う。

白ききぷり売り場は、大崎上島の人から大崎上島の人に売ろう。

香川県の小学生プレゼントなどは、大崎上島で作らう。

オメガさん、横田先生からの意見。

50人に売ればスナメリを守ろうとする人が増えるの、売れるよ。物を作る。

もうのほうれいばい、買う気になさねえわ。

も、かわいく、デザインを考えて、9枚のみにしよう。

上ごれやすりののは、つけたくないわ！ 食器用の、白いスポンジがいい。

大量にたくさん作れるものの方がいいと思うよ。

①をれん先生

この企画を考えた理由
スナメリのかわいいと大崎上島の特産品を身に付ける仲間を観光客の人に知ってもらいたからスナメリがいる海は、きれいだということを知ってもらうこと、このおたけだ海をきれいにしよう、スナメリを大崎上島の海に売ること、スナメリを大崎上島に売ること。

スナメリのスポンジがやわらかすぎると、われそうよ。スポンジはないでいいわ。川口先生からさう。

強くないとこわれてしまふ。

すぐこわれちゃう。水をつけたら、しぼるよ。かわいた、粘土は熱がかわくと溶けるよ。かわいた、かんじりなキーホルダーにする。

ミニネット5枚組で100円だったスナメリのかわいたに、売りたいところ。

企画名 「スナメリ」と大崎上島の特産品を身に付ける仲間を観光客の人に知ってもらうこと、このおたけだ海をきれいにしよう、スナメリを大崎上島の海に売ること、スナメリを大崎上島に売ること。

グループ名 みんなに教えてい(株)

提出者 川上 訓 岩本 雅

どんな企画？ (絵や言葉でかこう)
「スナメリ」と大崎上島の特産品を身に付ける仲間を観光客の人に知ってもらうこと、このおたけだ海をきれいにしよう、スナメリを大崎上島の海に売ること、スナメリを大崎上島に売ること。

どこにすめれり 白ききぷり売り場

だれと グループ全員 横田先生、早副先生、川口先生

いつまでに！ 3月22日

間に合いません。2月に。

どれくらいのお金が必要か 3万円も出してくれ人はいないと思うよ。

0円 3万円 5万円

目標 全ぶ売って、みんなに早副先生、スナメリのことを知ってもらおう。

資料9 「児童の振り返り記述 等」

①Before 8月のグローバルキャンプ（3校合同交流会1回目）での振り返り

○3校合同発表会をふり返って考えたことや思ったことをかきましょう。

発表は失敗ばかりで、ちよーはずかしい。
ぜんぜん自信しなかつたけど、何人かは感想
を言ってくれてよかった。



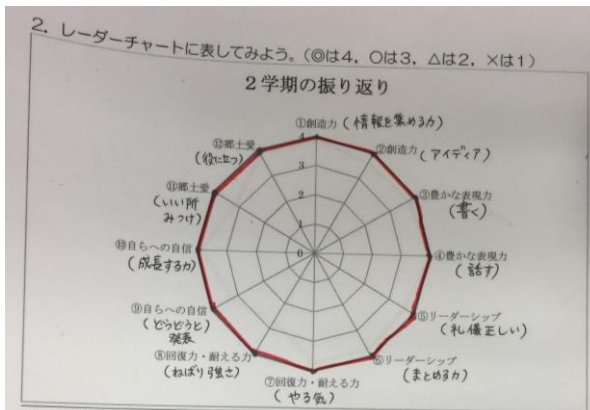
After 12月のK授業（3校合同交流会2回目）での振り返り

○今日の学習の感想を書きましょう。

今日の話し合いで、ゴミをすてたら魚、小魚、スタメリ
もへるという事もわかったしみんないっしょ
けんめい考えてくれたから、もっときれいに
なるように、驚きしようと思いました。

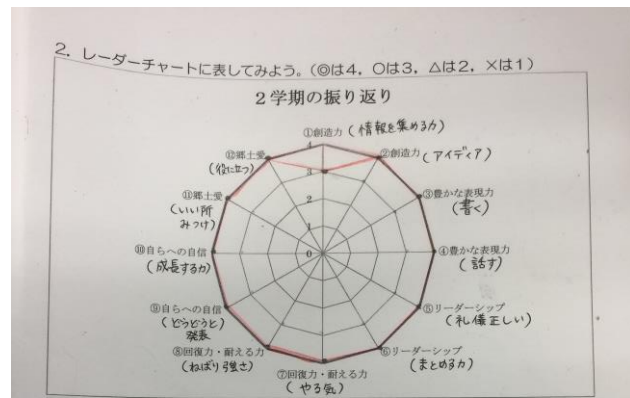
・自信を持って発表することができた児童が増えてきた。やりがいも持てているようだ。

②2学期末の振り返り記述



3. 2学期の学習を振り返り、がんばったところ、3学期にがんばりたいことを書きましょう。3学期はどんなことがしたいかアイデアがあったら書いてください。

2学期月に特にがんばったのは、ねばり強さだと思いたいへんであきらめそうになつたけど、チームのみんなでのりこえました。今回、やりたいことがよくまとまらなかつたので、もう少しスピードをおけてやりたいことをまとめたいです。物が作りたいです。



3. 2学期の学習を振り返り、がんばったところ、3学期にがんばりたいことを書きましょう。3学期はどんなことがしたいかアイデアがあったら書いてください。

2学期月にとくにがんばったことは、
どうしようと発表する事です。
3学期月にがんばることは、
いいとおみつけです。
や、イおたいことは、もっとすなめりを
ふやすために活動したい。

・本校の児童につけたい資質能力を意識して取り組ませることで、やる気や粘り強さが出てきた。

③ 日常の振り返り記述

○今日の学習の振り返りや感想を書こう。

1人で作るよりみんなで意見をもとめた方が枝が
ふえました。するいろいろなことが分かりました。
大嶽上島の海を2学期も見守りたいです。

○今日の学習の感想を書きましょう。

やりたいこと | ごみ拾いをしてすみれまつりが発表
したいなと思っています。
まだ日時もきまてないから早くきめて次のこと
にすすみたいなと思っています。やる気がいいね(◎)

○今日の学習の感想を書きましょう。

配った人にスナメリの事を知らせてもらい守ってほしいで
す。
クラスで話しているようなアイデアがでていい計画
が立てられたのが良かったです。よくがんばりました。

- ・「○○が楽しかった。」「○ができなかった。」といった振り返り記述から、できるようになったこと、思ったこと、次時の目標について記述できるようになってきた。

④ 専門家の方に教えていただいた後の振り返り記述

ぼくは平岡先生にっ問して、あまも
が~~あってこまる人も~~いると聞いて漁
し~~さんの事も~~考えないと~~思~~いました。
ぼくは、1回もスナメリを見た事
が~~な~~からたので見つけた時は、すこ
くうれしかったです。
これからもスナメリをふやしたりする
方法をくわしく調べたり、どうしたらき
れいでスナメリが住みやすくなる
かを調査して、結果をまとめて勉強し
ていきたいと思ひます。

教室では私たちが考えた1つ問に
とてもいろいろ答えて下さったので
分かりやすかったです。
おどろいたことはスナメリは日本だけではな
く世界中にいます。また温度や
えさによってスナメリの大きさがちがって、
近くのセト内海は1.7mと、小さめで
他の海では1.9mだということが分か
りました。
あまもたつりでは舟台の中であまもが
たくさんある場所で止まって、くわしく
教えて下さってあまもとうごうしました。
1つ1つあまもを教へていただき
ありがとうございました。

- ・専門的な知識を教えていただいたことで、学習意欲の高まる様子がみられたり、地域の方への感謝の気持ちを抱くことができるようになってきた。また、今後やっていきたいことを決めることもできた。